

茶園品評会審査研修会を開催

秋が深まってくると、茶の木の生育は止まります。この頃には、茶栽培技術の改善により宇治茶の生産性と品質の向上を図ることを目的に、府内各地で茶園品評会が開催されます。茶園品評会の審査員には、審査の視点を理解し、厳正に審査することが求められます。

そこで、当所の職員が講師となり、京都府茶生産協議会と共催で、審査員である農業改良普及センターやJAの職員等を対象とした審査研修会を開催しました。研修会では、当所の研究員が実際の審査を模した実演と解説をしました。「実演だったので分かりやすかった」「品種の違いがよく分かった」といった反響がありました。

今後も、宇治茶ブランドを守るために、茶園品評会をはじめとした取組を支援していきます。



審査の実演を交えて解説

農林センター（茶業研究所）